

THE 1984 8 KOBECOCO

AUGUST No. 280

月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

昭和59年8月1日印刷 通巻280号

昭和59年8月1日発行 毎月1回1日発行





SUMMER COLLECTION SIMPLISTIC.SUMMER

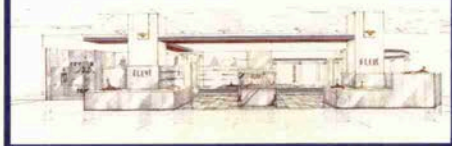
 **BENIYA**
KOBE-OSAKA-TOKYO

本店 / 神戸市中央区三宮センター1丁目ニューセンター1F・2F ☎332-2135

ÉLEVÉ

KOBE BENIYA

ベニヤエルベ銀座店誕生
8月25日オープン (銀座
メルサ1F)



スリラーっぽく、艶っぽく。

夏はスリラー

ファッション現場の

スリリングなハブニング、

ミステリアスに着こなして

美しい証拠を残しましょう。

〈ベニヤ〉サマーコレクション

シンプリスティックエレガンス。

TASAKI SHINJU

ありあけ30年
30
田崎真珠創立30周年
創立30周年

奇蹟のタリ宝石展

天使の涙、悪魔の美学。

超現実の世界に輝く美の結晶。



やっぱり、女らしいひとが勝ちみたい。

8月18日(土)⇒26日(日)

田崎ホール〈エスパス・メディア〉

神戸市中央区港島中町6丁目3番地2

田崎ビル 2F Phone (078) 302-3321

※団体での見学、お申込みは田崎真珠ギャラリー・渉外課まで

時間／10:00～19:00(ただし19日(日)・26日(日)は10:00～20:00)
入場料／一般700円(500円)・大高生500円(300円)・中小生300円(200円)※()は前売料金、20名以上の団体割引料金
主催／国際文化交協会 後援／外務省・文化庁・スペイン大使館・兵庫県・兵庫県教育委員会・神戸市・神戸市教育委員会

Classic Design Collection



太古の文明が育んだ装飾品が、
人を魅了するのは何故でしょう。

時を超えたデザインに託された、歴史のメッセージ。

シルクロードが伝えたものは、

美しいものを見つける私たちの感性であったのかもしれない。

美・意識の時代に、「ジュエリー文化」は育ちます。

この素晴らしい世界を次代へ。

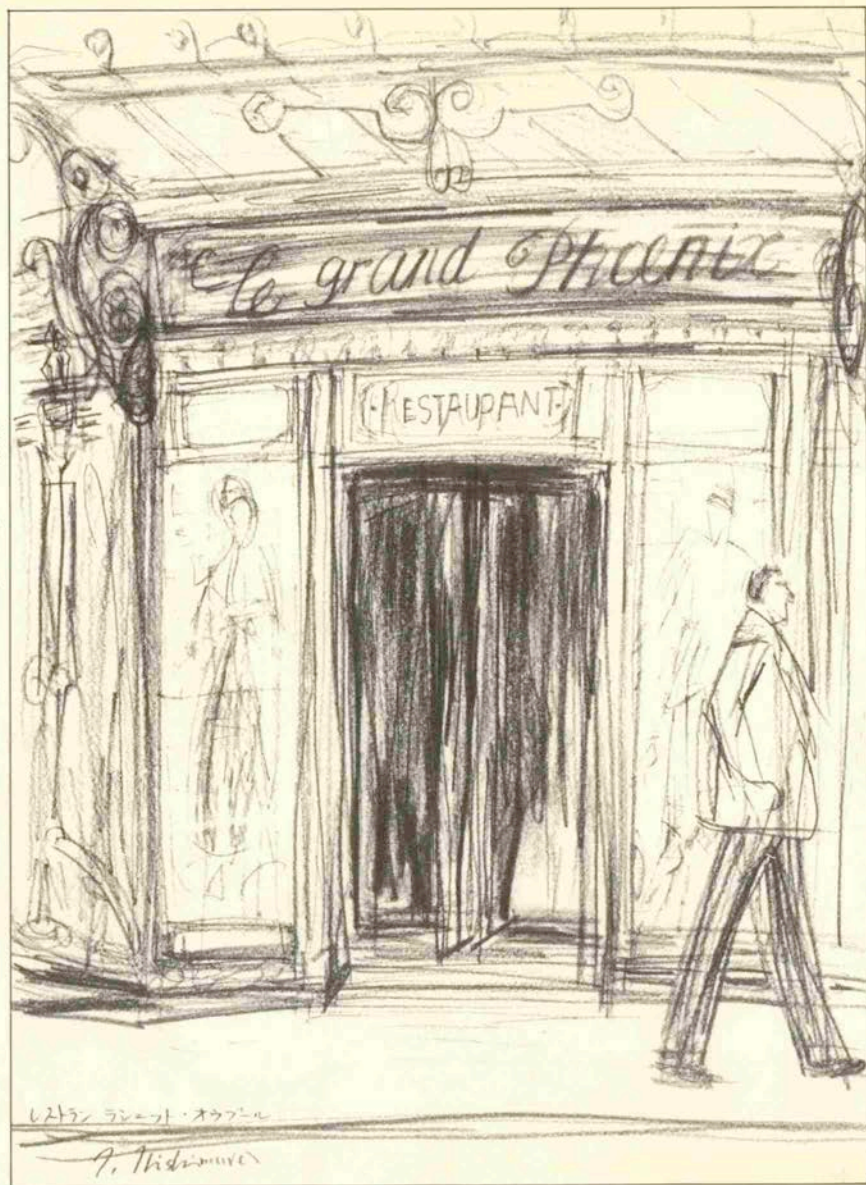
ブローチ：1916年デザイン

MIKIMOTO

神戸＝神戸国際会館 TEL (078) 221-0062 大阪＝梅田・新阪急ビル1階 TEL (06) 341-0247 京都＝河原町・BALビル4階 TEL (075) 241-2970 C 1984-8

スケッチブックから(68)

● ヨーロッパを描く レストラン ラシエット・オウブール



絵・西村 功

クオリティを極めた

シティホテル

シティイン西宮オーブン



CITY IN NISHINOMIYA

あらゆる年齢層の方にご満足いただけるシンプル＆モダンなインテリア、24時間のルームサービス、広くて快適なジェットバス、西宮自慢のおいしい水とコーヒーメーカーも各室に備えました。フロントにはワードプロセッサなどの設備も。現代人の行動性を重視したシティホテルの誕生です。

■軽いお食事やご商談に2F ティーラウンジ「アルファー」をご利用下さい。

(交通のごあんない)

阪神西宮駅から徒歩5分

国鉄西宮駅からタクシー6分



西宮市本町5-6 (名神西宮I.C 西1km)

TEL 079 8(2)35557



心と身体のリフレッシュ



ROYAL GRACE HOTEL



ロイヤルグレイスホテル鳥羽



ロイヤルグレイスホテル淡路島



上品高い姿が美しいグレイス号

暑中お見舞い申し上げます 1984年夏

自然の中で、降りそそぐ「光」と美しい「緑」の息吹き……。海と太陽をひとりにできるとき、本当のリゾートライフが見つかるのです。

南インターナショナルは「心と身体のリフレッシュ」をテーマにインターナショナルリゾートライフをめざしています。

来春には、いよいよ、鳥羽、淡路島の2ホテルも竣工。北野旧エリオン邸も、文化的スペースとして胎動をはじめます。

ぜひともご期待ください。



株式会社

南インターナショナル

MINAMI INTERNATIONAL CO., LTD.

神戸市中央区浜辺通5丁目1-14 ☎(232) 1301

オーガストドリーム、海辺の街に佇む



Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

青春の夢に忠実でありたい——西由美子（パールプリンセス）——

——ポニーテールに真珠のイヤリング……。真夏の海の中で青いリボンが揺らめいている。カメラ・藤原信二

パールプリンセス最終審査の夜、審査員のクロード・チアリさんの質問に流暢なフランス語で答え、会場をあっと言わせた。もはや、国際都市神戸は英語だけの世界じゃない。今年の審査の中で、彼女の話すフランス語はひときわ印象深い、新しい神戸の息吹きを感じさせた。

「青春の夢に忠実であれ」と、いつも自分に言うんです。迷うなら、いつそ進んでみよう、退いてあとになって後悔するくらいなら、飛び込んでみよう、と決めました」

三重県生れ。子どもの頃見た真珠貝と祖母の言葉が今も忘れられない。——真珠はどうしてできるの？ 真珠のものとを貝の中に入れると、貝が痛がつて、その涙で美しい真珠が生まれるのよ。真珠の貝のいとおしさと哀しさを知ることになりた、と話す彼女、芯の強さとうらはらに、本当は淋しがり屋なのかもしれない。

クラシックバレエ、琴、書道など多彩な趣味のかたわら、ジェラール・ルノルマンを聞く。松蔭女子学院大学4年在学中の21歳。西宮市在住、蠟座、笑顔がとても素敵だ。

（ポートアイランド 北公園にて）



西ドイツ、シュッツ社の藤家具が入荷いたしました



応接4点セット ¥1,080,000

靴と舶来雑貨

世界の一流品をあつめた

クロス

神戸トア・ロード ☎078(391)1781 三宮生田筋店 ☎078(331)5983

神戸ポートピアホテル・パレビアンカ2F ☎078(302)1558

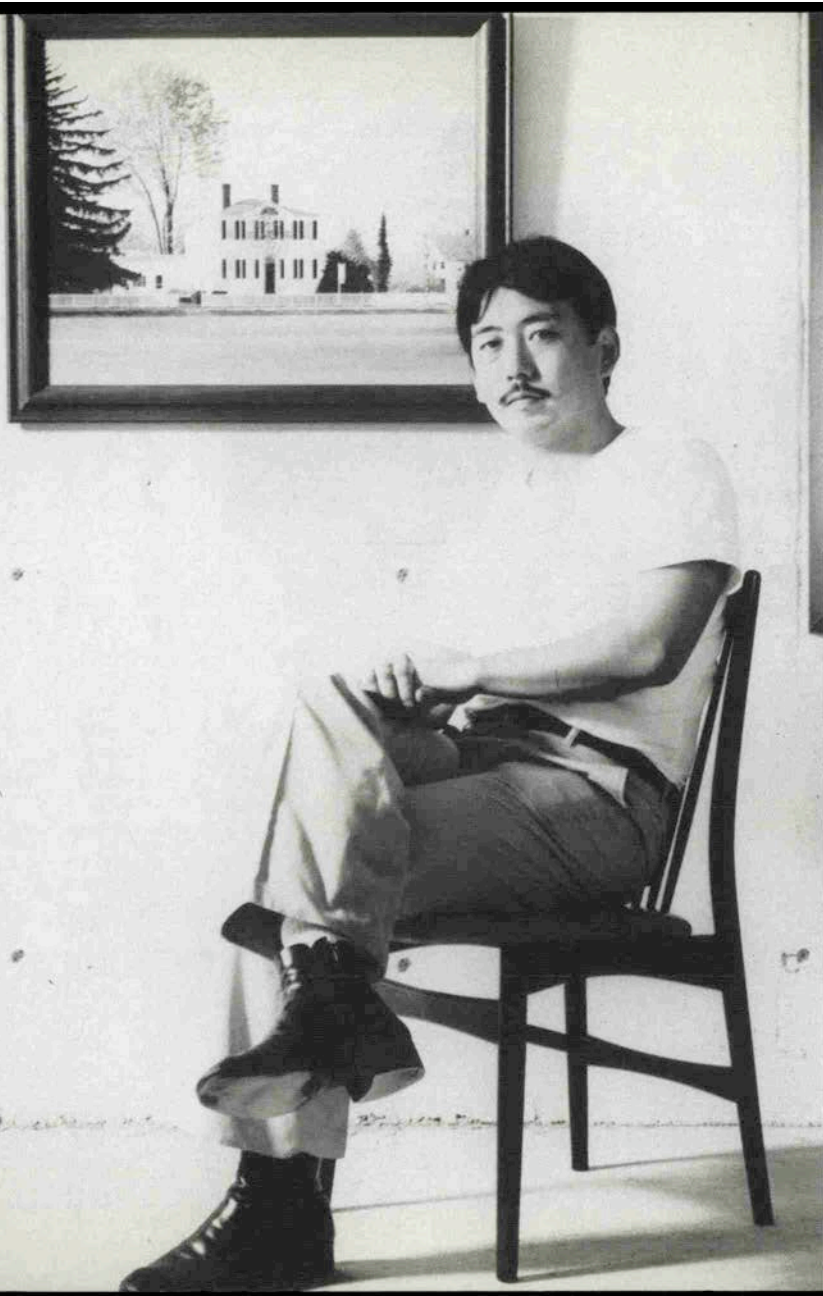
絵本と神戸VIEW開設へ——宇津誠二

（リライアンスカメラ・松原卓也）

ノーマン・ロックウェルという画家をご存知だろうか？アメリカの国民的な画家で、日本でも普及しているフェリス・スクールズという美術学校の指導教授でもあった。宇津兄弟も高校時代から彼の絵に傾倒しており、十余年後、弟の誠二氏は自ら、ノーマン・ロックウェルが晩年を過ごしたマサチューセッツ州のストックブリッジへ出かけて行った。そのほのぼのとした一日を13枚のアクリル画と文章で綴り、絵本にしようと考えていたが、チャンスが与えられて五月末、渋谷のスタジオパルコ六階、ギャラリーVIEWで個展を催すまでにいたった。

宇津誠二氏は、多摩美でグラフィックデザインを学び、櫛ヶ谷に就職していたが、脱サラ後六〇日間のアメリカ人旅へ。グラント・キャニオンの雄大な自然と対面して、彼自身の人生観にも変化があったようだ。ノーマン・ロックウェル原画美術館を訪れ、ロックウェル氏と懇意だった画家、フランク・ジョーンズ氏と出会う等、人口二一三六人の小さなこの街の一日は、そのまま絵本に表現される一日となった。北野町に彼の実家である青柳旅館がコーナーハウス（テナントビル）を新築し、その企画、プロデュースに携わっている。八月末に三階の多目的ホールVIEWWをオープンし、秋には絵本の出版と原画展を、頭の中では次の計画が次々と湧いている。

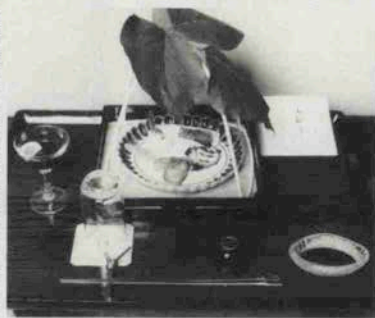
（コーナーハウスで）



●ある集い

馳走会

大田忠道さん作の前菜は夏鴨博多煮、豆腐諸味漬、木ノ葉丸干、大刀魚筏焼、青味大根、蛸けんちん



半田博一さん(馳走で)



曾田政昭さん(神戸竹葉亭料理長)



大田忠道さん(中の坊瑞苑料理長)

料理人の真髓

半田博一(馳走店主)

一流の料理人十二名が結成する馳走会は今年二月に発足した。読んで字のごとく、おいしいものを求めて走り回っている。二カ月に一度、会食を開きピジターも数名参加して真髓の苦労話をしながら味わうのである。

メンバー自身みんながライバルであり、良き友であり、料理を作る事が唯一の趣味である。

お客様から「おいしかった」の一言を全ての生き甲斐にしている。ヘン・ゴツの変わり物ばかりだ。

物資が豊かで何でも揃う時代だが、野菜にしろ、魚にしろ旬の本物の材料を見つけたし、日本一の幻といわれる時節の品物を吟味する。これでこそ、最高の日本料理の本領であり、後は腕で勝負。見て美しく、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、そしてうまい。こういう事を求めたつわものばかりが披露する料理は、そう、素晴らしい料理である。そして俺も負けずにもっと素晴らしいものを作るぞ、と思つて明日に賭けるのである。



神戸は文化都市だが、食文化という事に目を向ける人が少ないので残念である。お腹が脹れて、栄養があればいいと思っておられる方が多いようである。

それでは、犬や猫と同じで（花、鳥、風、月みな料理なり）おいしいのは当たり前前の事、季節感を考え、素晴らしい器に盛る—これぞ芸術である。こう書いてみると、すごい料理人ばかりだと思われるでしょうが、その実態は、タダの料理人ばかりである。有馬の中の坊瑞苑、宝塚グランドホテル、奈良ゆがやま、舞子ビラ、招福楼、神戸竹葉亭の各料理長や姫路の生松店主、森屋物産宝塚店店主、八百巴商店店主等が主な顔ぶれだが、熱心さ、情熱にかけては他の人の二倍も三倍もあるだろう。

今後は、料理教室の依頼や講演など要望があればメンバーが出向いていくという対外的な活動も考慮中なので、興味のある方はご連絡ください。

馳走会と同じ料理を日時を代えて召しあがっていただくことも可能です。

■馳走会連絡先／神戸市中央区山本通四丁目

二六「馳走」方半田博一

☎〇七八—二三—六〇二二

太陽と緑に恵まれた
美しい公園島・あわじ

2001年への出発—淡路・愛ランド博 楽しいイベントがいっぱい！ くになうみの祭典

昭和60年4月21日(日)～8月31日(土)

21世紀をまぢかに、県の提唱する全県全土公園化構想の先駆けとして、花とミルクとオレンジの島、淡路島の各地で今、ビッグイベントがひらかれようとしている。
「夢のアイランド」。このロマンティックな伝説にちなんで、来年の4月21日～8月31日の間、くになうみの祭典」が淡路島全島にわたってくり広げられる。

海浜カルチャー公園 おのころアイランド

「くになうみの祭典」のテーマ会場淡路島に伝わる国生み伝説から始まる歴史と文化、伝承の世界を中心に、多彩な島文化や未来を拓く海洋開発など「海と島と文化」を総合的に展示。お祭り広場も設けられ、人と人との出会いやにぎわいも創造していく。

★テーマゾーン

〈くになうみ文化館〉

施設に入ると一気に古代の世界へ。まず海とそこに誕生する島々の姿を光と音と立体模型で幻想的に演じる。さらに進むとくになうみの道しるべ●海をこえて●太平洋の島と人々●海の未来とサイエンスへと続く、淡路島がはぐくんできた国生みの伝説に始まる長い歴史と文化、その魅力を凝縮して紹介する。

〈陸の生物科学館〉

入り口を通り抜けるとシンボルゾーンへ。吹き抜けの中庭に自然の樹木や昆虫、小鳥などを取り入れ、生きものとのふれ合いが楽しめる。世界的に有名な阪口コレクシヨンの蝶なども展示される。

★ミニチュアワールド

〈ジオラマとミニトレイン〉

模型、映像、音響などで情景を再現するジオラマが、幻想的な世界に導いてくれる。場面を巡るのはミニトレインのロケット号。暗黒のジオラマトンネルを抜けると一転して太陽のふりそそぐミニチュアの世界へ。

〈ミニチュアランド〉

世界の著名な建物、寺院、住居などが25分の1の大きさと精密に再現される野外展示場。自由に散策しながら、ゆつくりとガリバーの小人の国の世界が楽しめる。

〈兼高かおる旅の資料館〉

旅行家の兼高かおるさんが数多くの旅を通じて集めた貴重な資料の中から、民芸品や民族衣装などを●祭る●飾る●粧う●食べるの部門ごとに展示するほか、素晴らしい旅の記録も映像で紹介する。

★バザールゾーン

〈フィッシュランズワーフ〉

サンフランシスコのふ頭街を思い出させる活気ににぎわいのコーナー。帆柱や街灯、旗ザオが立ち並ぶ異国情緒の中で、とれとれの海の幸がたっぷり楽しめる。

〈国際バザール館・淡路と兵庫のバザール館〉

独創的な手作り商品から世界の著名な商品までそろえたショッピング街。明るい音楽と会話が流れる若者向けのコーナーも設けられる。お隣では淡路島をはじめ、兵庫県内の特産品も彩りを添える。



この広大な島の各地で祭典がくり広げられる

〈野外レストラン〉

大型外食レストラン。お祭り広場のすぐそばで、手軽な食事を大量に提供する。

★イベントゾーン

野外劇場が設けられ、だれもが参加できる楽しい「ふれあい広場」を創造する。主なイベントとして
●ぬいぐるみショー●ミュージカル●コンサート●こども音楽祭●マーチングバンド演奏会●マジックショー●民謡大会などが計画されている。

★ブレイルランド

淡路島で初の遊園地施設。子供はもちろんおとなも童心にかえって楽しめる。迫力いっぱいのスリルが体験できる機械装置やミニSなどもお目見えする。

★大芝生広場

〈芝生広場〉

14・9ヘクタールに広がる芝生の海。園路、自由広場が設けられ、散策や運動がゆつたりと楽しめる。

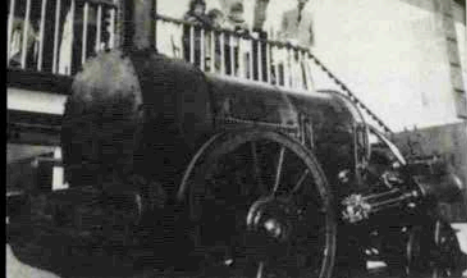
〈運動広場〉

芝生広場に隣接し広さは5・3ヘクタール。サッカー、バレーボール、ゲートボールに利用できるほか、テニスコート、野球場も。

太陽の公園

淡路ファームパーク

三原平野から津名山地にかけての地域は、とりわけ自然の美しい環境。その自然と人とのかわわり



ミニトレイン「ロケット号」



兼高かおる旅の資料館



大鳴門橋記念館

うずしおフロムナード公園 大鳴門橋記念館

淡路縦貫道西淡インターチェンジのすぐ近く、鳴門海峡を眼下にする柿ヶ原台地に建設される大鳴門橋のモニュメント。館内にはうずしお科学館と淡路人形浄瑠璃館のほか、三六〇度の展望が楽しめるレストランもできる。

★うずしお科学館

〈映像ホール〉

定員二〇〇人。35ミリシネマスコピー映写機1台とスライド映写機16台を使った大型マルチ映像システムで、渦潮のすべて、淡路島の歴史や風土、自然、文化とからめて詩情豊かに紹介する。

〈展示ホール〉

渦潮の科学、自然をテーマとするうず潮コナーが中心で、●大鳴門橋の記録●淡路の風土と観光●参加体験の各コナーがあり、立体模型、ビデオ、マイコンなどを使った、だれでも参加できる展示ホール。

★淡路人形浄瑠璃館

約五百年の伝統を持つ淡路人形浄瑠璃を毎日上演する常設館で、定員は二〇〇人。淡路人形浄瑠璃は国の重要無形民俗文化財の指定を受けており、文楽に比べて素材で力強く、野趣に富んでいるのが特徴で舞台装置の仕掛けである道具返しの早替えも見もの。

淡路・愛ランド博

くにうみの祭典

●会期/昭和60年4/21～8/31

お楽しみ抽せん付おのころアイランド前売入場券発売中/

●前売券/大人1600円(当日券2000円) 中高生960円(同1200円) 小学生800円(1000円) 幼児320円(400円)

うずしお科学館・淡路人形浄瑠璃館のセット券も発売しています

●前売券/大人1000円 中高生900円 小学生500円

●販売所/京都、大阪、兵庫県の各駅旅行センター、主要旅行代理店、阪神間ブレイガイド、瀬神戸生協他

●問い合わせ/おのころアイランド事務局・財21世紀ひろく創造協会

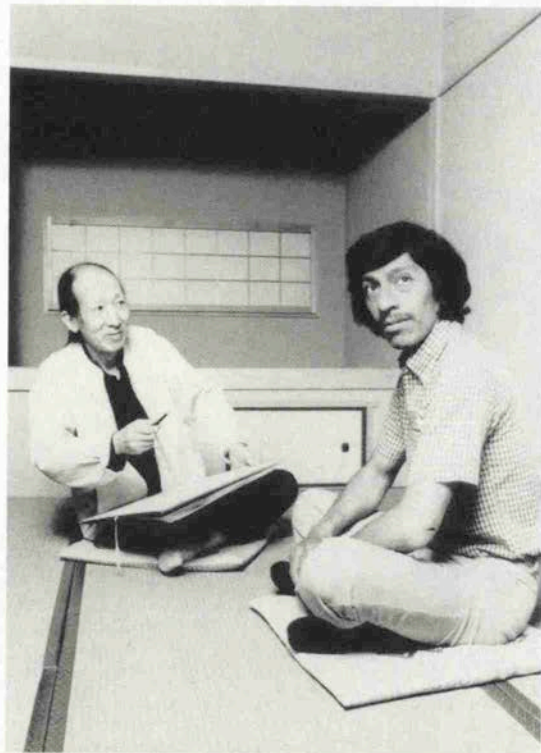
〒690神戸市中央区中山手通6丁目1-1

☎078(361)8635代

エトランゼの 輪郭 30

品川 祐治郎

1922/広島県に生まれる 1941/大阪中之島洋画研究所に学ぶ 1946/
大阪市立美術研究所に学ぶ 田村孝之介氏に師事 '47/第1回二紀会展
入選 '76/二紀会退会 '81/第8回兵庫県美術祭招待



モデル/ミゲル・ボンセ(ペルー)

定住することを知らない自由人、ミゲル

パリで知り合った日本人のガールフレンドを頼りに来日、都山流尺八を習いながら1年以上も日本に住みついてしまったミゲル。彼を一目見た時から、その造型的な顔のつくりに魅せられ“描きたい”衝動を抑えることができなかった。ミゲルの希望で離れの和室がこの度のアトリエとなった。

ミゲルの故郷はペルー、アンデスの奥地、カハマルカである。ペルー国立芸術大学建築学科在学中は、現大統領のベラウンデ氏に師事したこともある。卒業後、旅行でたまたま人口三百人位の過疎村、カグアにいた時、おりしもベラウンデ氏は大統領選に出馬、選挙演説のため新聞もないようなこの村を訪れることになった。その前日、ミゲルは一昼夜かけて、氏の似顔絵を千枚描き、村中に貼って歩いたという。

ジブシーのように世界各国をかけ巡るミゲル、僕は彼を国籍のない自由人と呼びたい。この絵には僕の家の中の粘土をニカワで溶き、貼りつけて立体感を出してみた。なかなかうまくいった。



ミゲル
(水彩・粘土)